

MCIスクリーニング検査

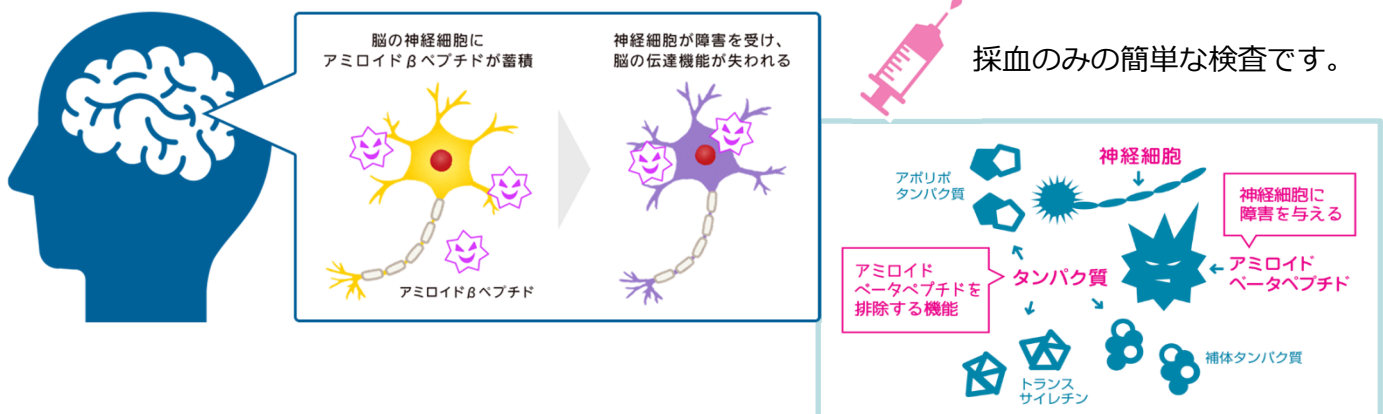
◆ 軽度認知障害とは？

認知症にはいくつか種類がありますが、日本ではその半数以上をアルツハイマー型認知症が占めるとされています。MCI (軽度認知障害)とは、正常な物忘れと認知症の間にあるグレーゾーンです。この段階で放置してしまうと過半数の方が認知症へ移行してしまいますが、MCIのリスクを知り、早期から適切な予防を行うことで認知症への移行を食い止めることができます。



◆ MCIスクリーニング検査とは

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが脳内に蓄積して神経細胞がダメージを受けることで発症するといわれています。本検査では、このアミロイドベータペプチドへの「防御力」に関わる3つのタンパク質の血中濃度を調べることでアミロイドベータペプチドを算定し、軽度認知障害のリスクを評価しています。



MCIスクリーニング検査で早期に認知症のリスクを知り、適切な対処・予防を行うことで、認知症の予防が可能になります。

こんな方におすすめです！

- ✔ 最近、もの忘れが増えてきた…
- ✔ 肥満や糖尿病など生活習慣病の恐れがある…
- ✔ 親や家族の様子が少し変わった気がする…



報告レポートイメージ

【報告レポートサンプル】

MCBIゆゆ 様の検査結果

軽度認知障害(MCI)リスク判定

判定	MCIリスク値	測定項目		
		APOA1	TTR	C3
A	0.10	180 mg/dL	25.0 mg/dL	1.50 Unit

あなたは A 判定です。リスク値は 0.10 です。
MCIのリスクはほぼありません。
今後も健康的な生活を心がけましょう。
1~2年に一回の定期的な受診をお勧めいたします。
ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう

下の図は、健康もしくはMCIと診断された方の人数比(緑:健康、黄:MCI)を表します。
▲はあなたのリスク値です。▲上の線で、あなたのリスク値での健康もしくはMCIの人数比がわかります。

あなたMCIリスク値

判定	基準値	説明
A	0.62未満	MCIのリスクはほぼありません。 今後も健康的な生活を心がけましょう。
B	0.62~0.72	MCIのリスクは低めです。 健康的な生活を意識して、MCIのリスクを減らしましょう。
C	0.72~0.82	MCIのリスクは中程度です。 生活習慣を見直し、直ちに予防に取り組みましょう。 物忘れなどで気になることがありましたら、専門医に診てもらいましょう。
D	0.82以上	MCIのリスクは高めです。 専門医による詳細な検査・診断を受けられることをおすすめします。

<注意事項>
・本検査は認知症の前期段階であるMCIのリスクを判定するものです。
・MCIの診断を行うものではなく、リスクを判定する検査ですので、認知症予防に向けたひとつの目安となります。
・MCIリスク値は、測定項目の数値の組み合わせにより算出します。測定項目の値は参考値となります。

【別冊資料】

はじめよう 脳の健康習慣

認知症 予防マニュアル

睡眠と覚醒のリズムが重要
質の高い眠りが
認知症リスクを防ぐ

早期発見、
早期対策がカギ
認知症は
予防できる

認知症の危険因子と予防に働く因子

危険因子	予防に働く因子
老化	運動習慣
認知症	睡眠習慣
高血圧	社会生活
糖尿病	ビタミンE・C2摂取増量
脂質	心
不安定な血圧	脳神経ケア
認知症	30分以下の睡眠

判定結果はリスクに応じてA~Dの4段階にて報告致します。受診後の認知症予防のための取り組みを解説した別冊資料も提供いたします。

※ 判定結果に影響を与える可能性がある疾患について

急性障害、急性腎障害、自己免疫性腎疾患などの自己免疫性疾患（急性期）、重度の栄養不良などの方は本検査において影響を受ける可能性がございます。補体タンパク質（C3）の活性化がおきる疾患では本検査の判定結果に影響を与える可能性があります。トランスサイレチン（TTR）は栄養状態で変動します。極端なダイエットなどでは本検査の判定結果に影響を与える可能性があります。

予約に関するお問い合わせ

検査料金：20,000円（税別）



岡山済生会 予防医学健診センター

TEL:086-252-2231